



栗原 収



動画配信中

文化事業の継続を問う！



現市民会館は地方都市の市民会館としては他市にまねのできない自主事業を実施し、文化庁からも高評価を得ているが、市民会館の閉館中の自主事業はどうするのか。

教育次長

小中学校の芸術教室は本市が誇る教育プログラムであり、市民プラザ文化ホールに移動しても継続したい。また、NHK交響楽団定期公演等は地方都市にはない特色ある事業であり、文化ホールの規模に合わせ公演を継続できればと考えている。

◆防災・減災の考え方



渡良瀬川の本市が管理する樋管のうち、令和元年台風第19号で被害が大きかった朝倉樋管には警報装置の設置が予算化されたが、所管の異なる他の水門等への警報装置の設置はどうなっているのか。

都市建設部長

国が直接管理する区間に設置されている水門等についても、朝倉樋管と同様に水門の開閉操作の情報を地域の皆様に適切に伝達することができる防災装置を設置していただけるよう、管理者である渡良瀬川河川事務所に対して積極的に要望していく。



須田 瑞穂



動画配信中

(仮称) 足利スマートインターチェンジの設置実現を！



現在の本市と国県の体制は、スマートインターチェンジ設置実現にとつてまたとないチャンスであると考えますが、市長はどのような行動をしてきたのか。

市長

本市から外務大臣や県議会議長等が選出されている今こそ、スマートインターチェンジの話を前進させるチャンスと捉え、何度も国やネクスト東日本に対し要望活動を行ってきた。引き続き様々な機会を捉え、より一層県との連携を密にし、できる限りの方策を尽くしていきたい。

◆機能別消防団員制度



火災等の災害発生時において、基本団員の欠員の多い分団ではOB団員の力が頼りになるが、OB団員を含めた機能別消防団員の定数見直しについて考えを聞きたい。

消防長

機能別消防団員は基本団員の欠員の範囲での任用を原則としている。現在、女性団員については活動状況を鑑みて定数を超えた任用も行っていることから、欠員の状況や消防活動への影響等を考慮し、OB団員についても各消防団の意向を踏まえ、柔軟に対応していきたい。



杉田 光



動画配信中

本市の危機管理体制について問う！



危機管理は多岐にわたり、ハザードマップの見直しなど課題が山積し続けていることから、危機管理課の体制の見直しが急務であると考えますがどうか。

副市長

ご指摘のとおりであるが、職員数には限りがあるため、令和2年度から兼務辞令を交付したいと考えている。該当する職員が本来の課に加え、危機管理課の職員でもあるということ認識させ、有事のときに対応できる組織を作っていきたい。

◆危機管理



御厨地域における溢水^{いっすい}対策として、農地整備を進めることで一団の土地を生み出し、農業や住宅を自然災害から守るための調整池を整備すべきと考えるが、市の考えを聞きたい。

都市建設部長

栃木県では久野橋から上流区間の現地調査を実施しており、令和2年度から国の交付金を導入した事業を実施するための予算を要望していると聞いている。河川管理者である栃木県と適切に連携を図りながら、浸水被害を軽減するための方策について引き続き積極的に調査・研究していきたい。